



神石小だより

神石高原町立神石小学校

学校だより5月号

令和7年5月13日

爽やかに澄み渡る空の下、新緑のまぶしい季節となりました。令和7年度がスタートしてから約1ヶ月、現在子供たちは運動会に向け、練習に一生懸命取り組んでいます。特に、高学年がリーダーとなり、低学年を引っ張っていかようとしている姿が印象的です。自分たちでやろうという、チャレンジしようとする姿は今年度のテーマ「3自」にぴったりです。運動会当日には、ご家族・地域の皆様のお越しをお待ちしております。



湖水開き



4月27日(日)に「第57回帝釈峡湖水開き」に「神石小学校トランペット鼓隊」の児童が出演しました。鼓隊演奏曲は「ファンファーレ」「こんにちはトランペット」「聖者の行進」でした。新年度の鼓隊は発足して間もない時期ではありましたが、子供たちは一生懸命に練習してこの日を迎えました。たくさんの方が見ておられる中の演奏で、最初は緊張した様子も見られた児童でしたが、最後まで堂々と演奏をしました。演奏をやりきった児童の姿には、どこか自身に満ちあふれた姿を感じることができました。今後は「学習発表会」「ミニコンサート」に向けて練習を重ね、よりよい演奏を皆さんに聞いてもらえるよう、がんばっていきます。

また、トランペット鼓隊出演の後には、4・5年生が昨年度作成した流木アートの販売を行いました。この流木アートは、総合的な学習の時間に帝釈の学習を行うことを通して、神龍湖に流れ着く流木をどうにか生かすことができないかと子供たちが考え、作成・販売に至ったものです。販売開始と同時に、多くの方に来店いただき、子供たちは自分の役割に責任をもって活動することができました。

※湖水開きの様子は、HPにアップしておりますので、そちらもご覧ください。



歓迎遠足

5月2日(金)、1年生と新しく来られた先生の歓迎遠足へ行きました。まず、神龍湖の遊覧船に乗り、その後神龍湖の周りの遊歩道をグループに分かれて歩き、草花探索をしました。それから、神石コスモドームへ移動し、お弁当を食べ、1年生と新しく神石小学校に赴任した先生に関するクイズやレクリエーションを行いました。これらを全て児童会が企画し、運営をしました。みんなが笑顔いっぱいの1日となりました。

※遠足の様子は、HPにアップしておりますので、そちらもぜひご覧ください。



交通安全教室



4月15日(火)福永駐在所の上中巡査部長・神龍駐在所の小川巡査長と、交通安全協会の山野さん・久保田さんにおいていただき、1・2年生は横断歩道の安全な渡り方について3年生以上は自転車の正しい乗り方について指導していただきました。実際に信号機を使って、通学路を想定し横断歩道を渡ったり自転車に乗ったりして安全な歩行や自転車の乗り方について学びました。交通安全教室を通して、自分の命は自分で守ることの大切さを学ぶことができました。

児童総会

4月25日（金）に児童総会を行いました。児童会役員が中心に会を進め、それぞれ委員会の委員長が今年度の活動計画等を説明しました。どの委員会も、どんな活動をすればみんなが楽しめるか、みんなの成長につながるかよく考えられた内容でした。また、いろいろな質問にも、誠意をもって臨機応変に答えることができていました。



読み語りボランティア

今年度も絵本の会「ゆきんこ」や読書ボランティアの方においでいただき、毎月1回読み語りをさせていただきます。4月16日（水）に今年度1回目の読み語りをさせていただきました。いつも子供たちの成長に合わせて素敵な本を選んで読んでくださいます。初めて見る本をたくさん紹介していただけるので、子供たちもとても楽しみにしている時間です。



エドヒガン

1・2年生は、地域のエドヒガンを見に行きました。1年生は「すごい」「きれい」と、初めて見るエドヒガンに感動していました。また行き帰りの道では、2年生がお兄さんお姉さんとして、1年生の面倒を見ることができました。

今年度も神石小学校では、地域のヒト・モノ・コトを子供達にたくさん伝えていきたいと思えます。者の皆様、地域の皆様どうぞご協力よろしくお願いいたします。



「まかせること」と「目標」

神石小学校長 田丸 栄

今年の4月・5月は少し肌寒い日が多いようで、例年草刈りに追われる季節のはずなのに、今年度は、そのペースも少しゆっくりなのかなと思っています。

さて、暦の上では夏が来ました。子供たちは18日（日）の運動会に向けて、練習も最終段階を迎えているところです。「一生懸命は美しい」という言葉がありますが、まさに、子供たちが練習から見せる「一生懸命」には、毎日感動しています。しかし、天気予報では、今週末から来週初めにかけて、ずっと傘マークがついており、運動会をどうするかと思案しているところです。

話は変わりますが、今、学校やいろいろな職場で「心理的安全性」ということを大事にしていくことが求められています。「心理的安全性」とは、ある程度の許容された世界（許される・任せてもらえる世界）で、課題解決に向かって、どのようにしたらよいかという自分の考えを自由に出し合い、議論できる、実行（言動）できるような世界のことです。このような「心理的安全性」が高い人間関係ができていると、集団としても個人としても成長できるということです。目標が高くて、この心理的安全性が担保されていないと、人は「きつい」と感じてしまいます。また、心理的安全性が高くて、目標が低いと、「ぬるい」集団、「あまい」個人が出来上がってしまいます。「目標」を高くもちつつも、「心理的安全性」も確保する、「任せる」ところは「任せる」ことで、集団も個人もよい成長をしていきます。

話を運動会に戻します。運動会では、個人でも集団でも、決まった動きをすることもあれば、自分で考えて動くことを任せられる時もあります。「目標」は高くもちつつも、子供たちが考えて動く場もつくり、「やってよかった」「楽しかった」と思えるような運動会にしていきたいと思えます。そのためにも、運動会当日は、保護者・地域の方のご声援が何よりの力となります。何卒、ご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

いじめ、体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口について
神石小学校に相談窓口を設置しております。児童や教職員に関して相談の窓口を設けています。小さな事でもご相談ください。担当は、教頭・生徒指導主事・養護教諭です。

神石小学校の教育活動をホームページでも公開していますので、ご覧ください

jinsekigun.jp/school/jinsekisho/